SEIKO GROUP PURPOSE

革新へのあくなき挑戦で、
人々と社会に信頼と感動をもたらし、
世界中が笑顔であふれる未来を創ります。

パーパスへ込めた想い

「革新へのあくなき挑戦」とは様々な事業において、技術に限らない多くの分野で革新を常に求め続けることであり、当社グループが挑み続けてきたものです。

また、当社グループのステークホルダー経営の根幹をなすミッションである「信頼と感動」を世界にもたらすことで「世界中を笑顔であふれさせたい」という想いが込められています。

CONTENTS

イントロダクション

1 SEIKO GROUP PURPOSE
2 140年以上にわたる価値創造のあゆみ
4 価値創造の源泉
5 事業概況
6 価値創造モデル

トップメッセージ

8 CEOメッセージ
14 社長メッセージ

中期経営計画／ドメイン別成長戦略

20 第8次中期経営計画「SMILE145」
～計画概要と進捗、最終年度はさらなる価値創出を加速～
22 エモーショナルバリューソリューション（EVS）ドメイン
30 デバイスソリューション（DS）ドメイン
34 システムソリューション（SS）ドメイン

財務戦略

38 財務分析
42 CFOメッセージ

5つのグループコア戦略

44 サステナビリティ戦略
54 人材戦略
62 DX戦略
64 R&D戦略
68 ブランディング戦略

コーポレートガバナンス

70 社外取締役メッセージ
72 役員紹介
74 事業会社役員紹介
76 コーポレートガバナンス
82 リスクマネジメント
84 企業倫理・コンプライアンス
85 株主・投資家との対話

データセクション

86 財務ハイライト
87 非財務ハイライト
88 財務データ
90 非財務データ
92 会社概要・株式の状況
94 コミットメントと外部評価

140年以上にわたる価値創造のあゆみ

セイコーグループは、140年以上にわたり、社会課題の解決に貢献するという創業以来の精神を受け継ぎながら、その時代に求められる製品・サービスを提供してきました。

変化する社会や事業環境を新たな価値創造の機会と捉え、人々の豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献し続けています。

1881 創業

1892 掛時計の製造開始

1913 国産初の腕時計 ローレル

1960 世界最高レベルの精度 グランドセイコー

1965 国産初の ダイバーズウオッチ

1968 世界初の家庭用 クオーツ掛時計

1969 世界初のクオーツウオッチ クオーツ アストロン

1974 セイコー クレドール

1975 水晶振動子、酸化銀電池

1982 サーマルプリンタメカニズム

1984 日本初の大型からくり時計 マリオンクロック

1985 外食産業用 オーダリングシステム

2001 タイムスタンプサービス

2005 DECOR 悠久

2013 世界初の 家庭用衛星電波クロック

1998 インクジェットヘッド

2005 無水銀酸化銀電池

1999 世界初のスプリング ドライブウオッチ

2012 世界初のGPSソーラーウオッチ セイコー アストロン

2015 100万分の1秒精度の時刻を配信 Time Server Pro

2017 超小型・超軽量の業務用モバイルプリンタ

2019 世界初リフロー実装対応 MS系リチウム二次電池

2019 AI型予兆予測サービス LUiNa

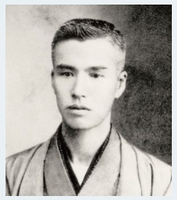
2021 日本初、複数のサービス業者を横断したトラストプラットフォーム

2022 グランドセイコーKodo（鼓動）

2025 トータル車両管理ソリューション Mobility+

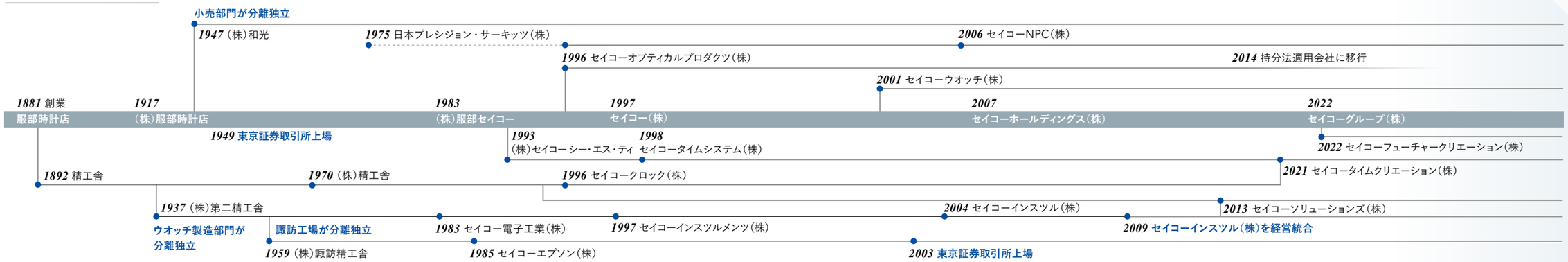
1900 1960 1980 2000 2020

価値創造の源泉



創業者
服部 金太郎

セイコーグループの事業の系譜



価値創造の源泉

Brand

信頼と感動を生み出すブランド

1881年の創業以来培ってきた信頼と品質へのこだわり、そして日本の美意識やものづくりの精神を体現したブランドは、感動や共感を生み出す価値創造の基盤となっています。

SEIKO

価値創造の源泉

Technology

時計製造で培われた「匠・小・省」の精神によるイノベーション

精緻な技とノウハウによる「匠」、精密加工・高密度実装による「小」、資源を効率的に活用する「省」の技術を磨き、革新的な製品や技術を生み出してきました。

Solutions

徹底したお客さま視点での提案力

創業以来培ってきたおもてなしの精神と技術力を融合し、多様なニーズに応えるセイコー独自のソリューションを創出してきました。

事業概況

エモーショナルバリューソリューション（EVS）ドメイン

機能的価値・感性的価値・社会的価値の高い製品・サービスを創出するとともに、優れた顧客体験を提供するドメイン。

主な事業会社： セイコーウオッチ（株）・（株）和光

売上高
2,204億円

営業利益
286億円

売上高構成比
65.5%

デバイスソリューション（DS）ドメイン

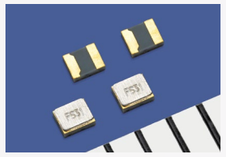
時計製造や開発から生まれた精密かつ確かな技術で、社会が求める高機能で高品質な製品を提供するドメイン。

主な事業会社： セイコーインスツル（株）・セイコーNPC（株）

売上高
650億円

営業利益
38億円

売上高構成比
18.0%



システムソリューション（SS）ドメイン

社会のイノベーションを実現するICTソリューションをワンストップで提供するドメイン。

主な事業会社： セイコーソリューションズ（株）・
セイコータイムクリエーション（株）

売上高
572億円

営業利益
55億円

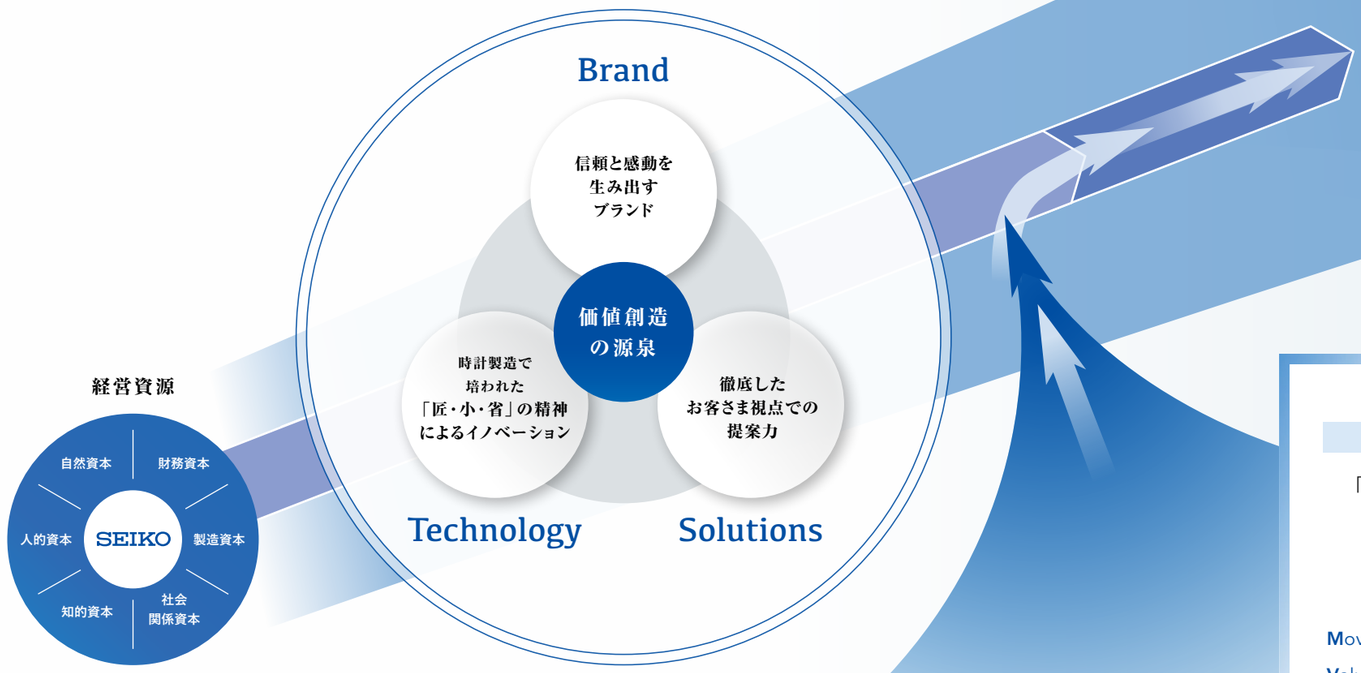
売上高構成比
16.5%

連結業績　売上高 3,357億円　営業利益 309億円

※ 2025年度の数値
※ 売上高構成比は外部顧客への売上高をもとに算出

価値創造モデル

セイコーグループは、セイコーブランドを中心とした経営資源を基盤とし、独自の3つの価値創造の源泉を活用して、資源の強化・拡大を図ることで、持続的な成長をしていきます。現在、中期経営ビジョンとして「ソリューションカンパニー」になるという目標達成に向けて第8次中期経営計画「SMILE145」を推進しており、企業価値の向上を加速させることで、グループパーパスの実現を目指します。



2026年のありたい姿

人々と社会に感動をもたらす
高付加価値・高収益な
製品・サービスを提供する、
ソリューションカンパニーになる。

グループ10年ビジョン

アナログとデジタルのシナジーにより
世界中の人・モノ・時をつなぐ
製品・サービスを創造し、
サスティナブルな社会に貢献する
ソリューションを提供する。

SEIKO GROUP PURPOSE

目標到達の確度を高めるドライバー P.20

第8次中期経営計画「SMILE145」

「SMILE145」の基本方針

MVP戦略

- Moving　感動
- Valuable　高付加価値
- Profitable　高収益

3つの戦略ドメイン

- エモーショナルバリューソリューション（EVS）ドメイン
- デバイスソリューション（DS）ドメイン
- システムソリューション（SS）ドメイン

4つの事業機会

基盤領域	拡張領域
感性消費	ウェルネス
Society 5.0	社会／環境

5つのグループコア戦略

サステナビリティ、ブランディング、人材、R&D、DX

環境認識

- 多様性の受容
- コミュニケーションの変化
- デジタル化の進展
- 少子高齢化
- 気候変動

DNA

企業理念
社会に信頼される会社であること

グループスローガン
時代とハートを動かすセイコー

創業者の言葉
常に時代の一歩先を行く